

【数学基礎論および歴史分科会】

1. 2024 年度の分科会運営委員会について

2024 年度の評議員と運営委員は以下のとおりです（括弧内は分野）.

連絡責任評議員：関隆宏（非古典論理）

受賞候補推薦評議員：薄葉季路（集合論）

分科会選出「数学」編集委員：宮部賢志（証明論と計算論）

運営委員：田中紀子（歴史）、小川束（歴史）、坪井明人（モデル理論）、
倉橋太志（証明論と計算論）

2. SAML 2024 のお知らせ

国内の数理論理学の諸分野の研究交流を目的とした Symposium on Advances in Mathematical Logic (SAML) 2024 を, RIMS 共同研究(公開型)「数理論理学の最近の進展」
として、以下のとおり開催します.

日程：2024 年 7 月 9 日（火）～12 日（金）

会場：京都大学数理解析研究所（ハイブリッド開催）

幹事：酒井拓史（東京大学）

内容：集合論・計算論・非古典論理の研究動向紹介・チュートリアル、各分野（証明論・
集合論・モデル理論・計算論・非古典論理）の招待講演

ウェブサイト：<https://sites.google.com/view/saml2024>

3. 数学基礎論および歴史分科会関連研究集会について

数学基礎論および歴史分科会ウェブサイトには、研究集会に関する情報が掲載されています。研究集会情報の新規掲載もしくは内容変更は、連絡責任評議員にお知らせください。

数学基礎論および歴史分科会ウェブサイト

http://mathsoc.jp/section/logic_and_history

（連絡責任評議員 関 隆宏，新潟大学経営戦略本部評価センター）